

# 家読 我が家の実践例！

埼玉県三郷市教育委員会

○ 各家庭1, 150点の「家読実践」の中から、顕著な取組をご紹介します。

## 1 図書館の有効利用

- ・毎月23日は必ず家読をします。図書館に親子で新しい本を探しに行きます。  
(前谷小)
- ・北部図書館を定期的に利用しています。メールアドレスを登録しておくで最長で4週間まで借りておけるのでとても便利です。借りた本は、夜寝る前に読み聞かせなどをして親子で楽しんでいます。  
(瑞木小)
- ・月に2回くらい子どもと図書館へ行き、好きな本を借りてきます。図書館へ通い始めると次から次へと読みたい本が見つかり、楽しくなります。2歳の子どもの好きな本をちゃんと持ってきてくれます。  
(丹後小)
- ・親子で地区センターの図書室へ行って本を借り、寝る前は借りた本や家にある本、親が子どもの頃に読んだ本などの読み聞かせをしています。  
(高州東小)
- ・毎週水曜日に必ず市立図書館へ向かい、市立図書館で本を読んだり借りたりしています。  
(彦成小)
- ・小さいころは寝る前に本の読み聞かせ、小学校に入ると図書館に頻りに連れて行くなど、多くの本に触れ合えるようにしています。  
(新和小)
- ・図書館、本屋が身近な場所になるように気を配る。北部図書館に「中学生向け」のコーナーがあり、6年の娘が気に入っています。関心の高い携帯・友達・恋・将来の仕事の本があり、実用的な本は、拾い読みしたり子どもと「こんなのもあるよ」とか、「表紙のデザインがかわいいね」とか互いにコメントして楽しみます。  
(匿名希望)
- ・我が家では、1週間に1度、図書館へ行き子どもたちが自分の読みたい本を10冊くらい借りてきて、読みたいときに読んだりしています。そして1日の終わりの寝る前、布団に入り、親

による読み聞かせをします。今では本が大好きになり、よく妹に読み聞かせをしてあげています。  
(八木郷小)

・ 2週間に一度は家族みんなで図書館へ行って本を読みます。どの本を借りるのか話し合いながら見るのがとても楽しみです。  
(瑞木小)

・ 休みの日は家族で図書館に行き、たくさん本を借りてみんなで回し読みしています。  
(戸ヶ崎小)

・ 我が家は週末に家族で図書館に行きます。そして10冊の本を借りることにより家読することを習慣にしています。  
(丹後小)

## 2 読書の時間の工夫

・ 私が取り組んでいるのは、家に帰宅したら手洗いうがいをして、すぐ自分の机に向かい本を読むことです。本を読むときは周りを静かにすることです。  
(北中)

・ 家族全員が1つの部屋（リビング）に集まり、テレビ・音楽の音を消し家族が読む本をめくる音だけを部屋に響かせます。  
(瑞穂中)

・ 食事の時間に一人一人おすすめの本を紹介し、読書の時間を1時間くらい設けています。  
(瑞穂中)

・ 寝る前の30分間を読書の時間と決めて全員で読書をする時間にしています。弟は2歳なので絵本、妹は動物が好きなので動物の本、父は法律など勉強が好きなので裁判のおもしろい本、母は家事のスムーズに行く方法など、全員が自分にあった本をテレビを消し、リビングで読む時間にしています。  
(瑞穂中)

・ ゲームの時間を決めて読書の時間をつくります。  
(瑞穂中)

・ パソコンやゲームをやめて本を読みます。  
(瑞穂中)

・ 2人で30分間本を読む間テレビを消しました。読んだ本は、母がATARU、自分はモンスターズユニバーシティです。  
(瑞穂中)

### 3 家読（読書）とコミュニケーションについて

- ・毎日寝る前にベッドで本を読んでいます。読み終えた本のことやおもしろかった本のことを朝食のときなどに父親に話しているようです。（夜は帰りが遅くなかなか会えないので）  
(幸房小)
- ・妹に読んでくれるので下の子も読書が好きになりました。お姉ちゃんに読んでもらうのが嬉しいようで喜んでいる姿にこちらも嬉しい気持ちになります。妹への読み聞かせのとき母である私も一緒に聞くようにしています。  
(彦成小)
- ・毎週金曜日に学校では親子読書に取り組んでいますが、私が働いていることもあり休日のゆっくりしたときに読書をしたいので、休日の夕方、夕飯前に読み聞かせをしています。終わったらお風呂へ。パパに何を読んでもらったかを報告しているようです。読み聞かせの終わりに次回予告で「何を 읽습니다・・・」みたいなことをやっています。子どもは少しだけ楽しみにしてくれているようで、読み始める前に「〇〇読んでくれるんだよね」みたいなことを言ってくれるときもあり、親としても大切な時間を過ごさせていただいております。  
(匿名希望)
- ・ゆとりある時間があれば、本というアイテムを使い、家族のコミュニケーションが取れる場を作れるよい取組だと思えます。  
(新和小)
- ・家読をきっかけとして家族の会話の幅が大きく広がり、会話が増えました。さらに日常的に本を読む機会が増えたと思えます。  
(瑞穂中)
- ・母が薦めた本を探して読み、感想を互いに述べ合うことをしています。  
(瑞穂中)
- ・家族で同じ絵本を一緒に読みます。親が読んだり子どもが読んだりして感想を交流します。  
(早稲田小)
- ・読んでおもしろいと思った本を家族と交換して会話をしています。  
(北中)

### 4 読み方の工夫

- ・幼稚園年中の弟にあわせて寝る前には、ソファでみんなそろって絵本の読み聞かせをしています。図書館で借りた本の自分なりのあらすじを話し合ったりします。そこで子どもたちのおすすめの本も読んでみます。  
(早稲田小)
- ・寝る前など子どもの読みたい本を持ってこさせて一緒に読みます。子どもには「」の中を読んでもらったりします。  
(彦成小)
- ・丸読みで交代しながら読みます。挿絵について何を意味するのかを考えます。（親子）  
(丹後小)
- ・伝記・童話・昔話等、親子の読み聞かせを日々続けています。また、本人にも声を出して同じ本を親に「読んで聞かせて」と言って読ませています。  
(高州東小)

- ・子どもがまだ一年生で一冊を全部読むと飽きてしまうので、子ども⇒親と1ページずつ交代で読んで、最後に感想を言い合っています。(高州東小)
- ・毎週、弟が幼稚園で借りてくる絵本をお姉ちゃんが読んでみんなできいています。(新和小)
- ・我が家ではいつも一冊の本を親と子で1ページずつ交代しながら読んでいます。顔を近づけてのぞきこむようにして本を読むと小さいころ、絵本を読み聞かせていたことを思い出し、心がほんわかあたたかくなります。(新和小)
- ・絵本を読むときにナレーションとセリフに分けて親子で読んだりします。キャラクターごとに声や話し方を変えて楽しみながら読みます。(鷹野小)
- ・家族みんなが読める本を探して一冊の本でリレー読みをします。読んだ人は内容を家族に伝えます。最後まで読み終わったら家族で感想を言い合います。(戸ヶ崎小)
- ・読んだ本の続きをみんなで考える。心に残った場面を絵に描きます⇒発表(早稲田小)

## 5 本の種類

- ・毎晩「366のおはなし」を1日1文ずつ(できる限り)読むようにしています。読んだらシールを貼るのが楽しみです。(幸房小)
- ・図書館で本を借りて読んでいます。父母が昔読んだ本をわたしたちに薦めています。(北中)
- ・母が買った本と私が買った本を交換して読んでいます。(北中)
- ・家族で絵本を読みます。(北中)
- ・家族で動物園へ行った後や虫取りや磯遊びをした後に図鑑を借りて、そこで見た生き物などを家族みんなで詳しく調べてみます。(戸ヶ崎小)
- ・以前、兄や両親が読んだことのある本を自分も読んでそれぞれがどんな感想を持ったか話し合います。(瑞木小)
- ・まだ難しいかな?と思う本でも本人の読みたいという気持ちを重視して挑戦。読んだらストーリーや感想を必ず書くようにしています。時には親が子どもに読んでもらうこともあります。(瑞木小)
- ・子どもが興味をもって借りてきた本を子どもが読んだ後に親も読んで感想を言い合ったり、小1と小5の子どもが共に読めそうな内容であれば、1ページずつ交代で音読し、その内容について話しあったりします。図書館で月1回工作や実験などを行って、関連した本を紹介してくれたものを借りて読むのも有意義な家読につながっています。(瑞木小)

・お母さんやお姉ちゃんなどが昔読んでいた本を借りて読みます。読んだ後にどんな所がいか、どこの場面が好きかなどを話し合います。  
(早稲田小)

・実家に帰ったときに、自分が小さい頃読んでいた本を子どもにすすめ、その本を持って帰り、家で一緒に読んで感想を話し合っています。少々古くなった本も再び活躍しています。  
(彦郷小)

・我が家で一番本を読むのは中学2年の兄です。最近では、兄が小4の妹に自分が大事にしていた本を譲り、今ではその妹が熱心に読んでいます。兄からバトンタッチされた本たちは、今、妹の本棚にその背表紙が並んでいます。  
(桜小)

・親の思いを上手く伝えられないとき、似たような内容の本を子どもたちに読んで感想を言い合うことがあります。「お母さんは、こう感じたな。あなたはどうか？」と自然な流れでお互いの考えや思いを伝え合うことができ、私達親子にとって大事なコミュニケーションです。  
(新和小)

・定期的に本が郵送されるシステムで購入しているため、自宅に常に本の補充ができています。  
(新和小)

・心が優しい気持ちになれたり感動できる本は、よく読み聞かせをして子どもたちとそれについて話し合ったり、感想を言い合ったりしています。  
(戸ヶ崎小)

## 6 本屋さんの有効利用

・週に一度本屋さんへ出かけ、趣味の話や今話題になっているニュースなどの本を探したりする「本屋さん散策」を家族の時間に取り込んでいます。  
(瑞木小)

・買い物に出掛けた時など定期的に本屋さんに出向き、どんな本が出ているかチェックします。気に入ったものは、購入して皆で読みます。  
(高州東小)

・子どもが欲しい本は必ず購入します。電車等の移動時は(親も子どもも)本を持ち歩きます。  
(匿名希望)

## 7 本への興味の持たせ方

・親が子どもに読んで欲しいと思う本を図書館から借りて、さりげなく勉強机の近くに置いておきます。子どもが読んだ時は、感想を言ってくれるので、親も同感したりして話をふくらませるようにしています。  
(新和小)

・乳幼児の頃は、寝る前など時間があると絵本を読み聞かせ、終わると内容について話し合いました。児童になってからは、欲しいものは理由無く買いませんが、本はなるべく買うよう心掛けました。私も本が好きなのでよく本屋さんに行き、家の中ではすぐ手の届くところに辞書や本を置き、読みたいときに読む、これが我が家のスタイルです。(基本的に8時以降、テレビは消すようにしています。)  
(新和小)

- ・いつでも本が手に取れるよう食卓のテーブルの近くに本棚を置いています。 (新和小)
- ・本棚のそばにイスを置いて居心地のよい空間をつくりました。 (戸ヶ崎小)
- ・玄関脇に本棚を置いています。寝る前に本を1冊読んでいます。 (前谷小)
- ・子どもの目線に合わせて本を置きかえたり、すぐ読める場所に図鑑を置いています。たまにテーブルの上に図書館で借りた本を置いたりもしています。 (丹後小)
- ・リビングの目に付きやすい場所に本を並べておくと時間のあるときに自然に読んでいます。読んだ本の感想も家族でするときがあります。 (丹後小)
- ・いつでもさっと本が読めるように、2階にあった本棚を1階のリビング横の和室に持ってきました。 (桜小)
- ・みんなが集まるリビングに大きな本棚を置き、絵本・図鑑・童話などたくさんのお気に入りの本が揃うようにしています。 (彦郷小)

## 8 家読の習慣化の工夫

- ・3才、5才、9才の子どもがいますが、寝る前は必ずそれぞれ読みたい本を1冊ずつ選んで、1人5～10分程度の読み聞かせをしています。もう何年もの習慣になっているので、読み聞かせをしないと眠るモードに入らないようです。 (前谷小)
- ・生まれたときからずっと本を読んで聞かせてきました。今でも本屋さんに行ったら本を見たり、できるだけ図書館から本を借りてきて読むようにしています。 (高州東小)
- ・小さい頃、寝かしつけで始めた寝る前の本読みが、今では習慣となっています。その日にあった出来事とつながりのある内容の本を選んだり、子供達が1冊ずつ好きな本を選ぶこともあります。今、子供達が何をどう感じているのかを知ることができ、私にとって家読は成長のバロメーターになっています。 (新和小)
- ・各自同じ時間帯に好きな本を読んでみたり、昔から好きな本を読みあたりしています。 (前川中)
- ・寝る10分前から読書タイム。枕元には本や絵本が積んであります。すぐ眠くなってしまっているので、一冊がなかなか読み終わりませんが・・・ (匿名希望)
- ・家族で読む本を決めて全員集まって親が読む日、子どもが読む日を決めています。 (早稲田小)